

体験活動参加型＋講演会型＋在宅取組型（小学校）

学校名等	養老町立池辺小学校
実施日時	平成29年7月22日(土)
会場	池辺小学校 家庭科室
参加人数	食生活改善推進委員(6人)・保護者・教師(10人)・児童(8人)
学習課題(分野)	食育指導・親子クッキング・「きらり」見つけ
運営者の願い	「食」を通して、栄養分を配慮した食事の大切さを認識すると同時に、親子で一緒に料理をしたり食事をしたりすることを通して、子どもを理解するための子育ての一つの形態の提案を試みた。子どもにとっても、手際よく料理をする一部始終を見る機会はないため、食事を準備してもらうことのありがたさに気付くきっかけになる。食育と親子クッキングが、各家庭の食事の在り方、食卓を囲む時間の在り方の改善につながることを期待して取り組んだ。

学 習 の 内 容

親子クッキング

<開会>

家庭教育委員から、「きらり」を見つけながら活動することを伝えられ、今日の活動の目当てとして位置付けられた。

<食育指導・安全指導の講話>

「なすの原産国はどこ?」「ポテトチップス一袋はご飯の何杯分のカロリー?」等の楽しいクイズ形式で食育指導を受けた。子どもたちは、身近に食べ物について驚きとともに関心をもった。暑い時期の食中毒への対応や包丁の使い方等、安全についての指導を受けた。

<親子クッキング>

旬のものを使い、栄養分を配慮した献立で、子どもたちでもできるように配慮された4品を手順よく調理した。盛りだくさんの品数だったが、調理工程に工夫がされていたため、急ぐ必要もなく子どもたちが主体となって活動した。レシピも配布され、また作りたいという声も上がっていた。

<「きらり」見つけ>

活動の終わりに、学校が常時取り組んでいる「きらり」見つけ(よいこと見つけ)を位置付けた。親から子へは、「上手に野菜を切っていたね。」「『何かできることはない?』と考えながらできたね。」、子から親へは、「家でもこうやっているんだなと分かったよ。」などがあつた。お互いに「きらり」を伝えあつて終了した。



「きらり」見つけの位置付け

親子で料理するというだけの活動にならないよう、「きらり」見つけを位置付け、親子の交流が形となって伝わることや児童の自己肯定感につながるように取り組んだ。

食生活改善推進委員さんとの事前の打ち合わせでも、「きらり」見つけについて説明し、ご理解いただいて実践した。



親も一緒に約束をする

「話そう! 語ろう! わが家の約束」を取り組むにあたり、子どもだけに約束を作らせるのではなく、親も子どもが設定した約束に関わって約束を設定することとした。子どもの約束が実行できるように、親サイドの約束づくりは、子どもの約束の実行につながり、児童の自己肯定感につながるよう取り組んだ。

「話そう! 語ろう! わが家の約束」運動



本活動は、夏季休業に入つてすぐの活動だったこともあり、「話そう! 語ろう! わが家の約束」運動として取り組んだ家庭があつた。この実践をするにあたっては、「子どもに約束させるなら親も同じように約束して取り組もう」と意図して呼びかけられた。以下は、本活動とリンクして取り組んだ二つの家庭の具体である。

「今年の夏休みはこれをがんばるぞ!」(わが家の約束)として「ごはんを残さず食べよう!」とした家庭では、子どもは「好ききらいをしない」と設定、保護者は「食べやすいようにお料理するよ」と設定して取り組んだ。また、「ごはんの前に一つは仕事をやる」とした家庭では、子どもは「おはしを並べる」、保護者は「時間通りに食事を準備する」と設定し、「みんなのために、きれいにおはしを並べたよ」、「〇〇のおかげでごはんの準備が素早くできたよ。ありがとう。小さくても、家族のためにできることがあるね。」と伝え合った。親子クッキングでの「きらり」見つけが継続されていた。

第4回 在宅取組型 家庭育学級 「話そう! 語ろう! わが家の約束」実践記録

【家庭育学級実践する日】は毎月第3日曜日と「8」のつく日です。

今年の夏休みはこれをがんばるぞ! (わが家の約束)

「ごはんのまえにほむとひとつはしを並べる。」

子どもが取り組むこと

親が取り組むこと (サポート)

おはしを並べる。 じんどうりにしくじをしない。 じなみてきくまで待つ。

取り組み日	7/28	8/3	8/19	8/28	1
-------	------	-----	------	------	---

〇前の日と翌日や前後への思い出を書きましよう。 子どもから親へメッセージ

みんなのために、きれいにおはしを並べたよ。 ありがとう。小さくても、家族のためにできることがあるね。

年 月 日 名前